多可町特別職報酬等審議会（第1回）会議録

日時 令和5年7月6日（木）

午後7時00分～午後8時20分

場所 多可町役場 特別会議室

（出席者）

【委員】安藤和志（教育委員会）、清水賢彦（区長会）、中道忠憲（北はりま森林組合）、後藤泰樹（商工会）、笹倉政之（社会福祉協議会）、草別義雄（老人クラブ連合会）

【行政】吉田一四（町長）、藤本志織（総務課長）、西川陽子（副課長）、岡本竜弥（副課長）

（欠席者）藤本憲一（農会長会）、高田潤二郎（PTA協議会）

1 開 会

2 委嘱状交付

代表受領方式 代表 安藤和志（教育委員会）

3 あいさつ

町長

4 委員紹介

5 会長選出

会長 清水賢彦（区長会）

6 諮 問

7 協 議

（1）常勤の特別職の給料並びに議会の議員報酬の額について

○審議会の今後の進め方について説明。

・人事院勧告が8月末になること、議会としての定数・報酬等の取りまとめに今しばらく時間を要することから次回は9月頃に開催する予定。

【質疑応答及び主な意見】

Q1. 議員の年間労務は何日程か。

A1. 定例会は6、9、12、3月の年に4回あり、月の1/3程度である。特に3月は翌年度の予算、9月議会は前年度の決算があり、毎日ではないが、9：30～15：30頃まではかかる。また休会中の月も、常任委員会に付託された審議がある。そのため定例会以外の月が完全に休みという訳ではない。

令和2年度に、議会の方で報酬を検討されている。その時に報酬の算定資料として活動日数を計算している。先ほど説明のあった定例会や常任委員会の日数や、議員としての地元での活動、自己研鑽等の日数は全国の平均値を参考に、多可町議会議員の平均の年間活動日数は109.631日（土日含む）と計算している。

Q2. この答申はいつまでに。

A2. 現状維持なら別だが、変更することになった場合、議会に上程が必要。また議会の方も定員を変更する場合は上程される。できれば同時期に上程したい。議会が12月議会に上程されるなら答申は10月中、3月議会なら年内に答申という形をお願いしたい。とは言いながら、人事院勧告、議会の報告をもって次の開催となり、次回は9月以降を予定している。

Q3. 仮に報酬を上げることとなった場合は次の選挙からか。

A3. 次の任期からでも構わない。この場で決定してもらえたら。

（意見1）

報酬は上げるべきとは思いますが住民の理解が必要であり難しい問題。ただ何年も低い額で据え置きは問題で、多少の引き上げが必要と考える。そのための根拠資料を作っていかなければならない。

（意見2）

前回の2年前もそうであったが、この報酬が妥当であるかどうかを判断するのが非常に難しい。県内の町、全国の類似団体との比較、多可町全体の所得の平均ぐらいしか比較対象がない。多可町の平均所得が2,778,000円と出ているが、公務員が大分引き上げており、民間だけになるともっと低い数値になるはず。それは我々企業にも責任はある。

(意見 3)

議員も査定して、報酬に差をつけたらよい。

(意見 4)

昔は議会にもほとんど出ず、報酬だけもらっていた議員がいた。そういったことに対して特に制裁はなかったと思う。一般からすると考えられない。仕事もせず報酬が貰える、そんな組織があることが考えられない。難しいのかもしれないが、制裁等も考えなければ、頑張っている議員とそういった議員が一律であることはおかしい。

(意見 5)

その制裁が選挙である。そういった議員は次の選挙では通さないというシステムが機能していない。

(意見 6)

現在の定員 14 名のところに 20 名程の立候補があればふるい分けが出来てよい。前は選挙となったが、以前は何回か無投票があったと思う。ここで話は報酬が安いから選挙に出ないのかということに戻ってしまうが、ただ報酬を 1, 2 万円上げたところで、若い世代が選挙に出るとは考えられない。

(意見 7)

この審議会で、議員のモラル、資質、レベルの向上も求めたい。今の議員は、役場主導で、町のプラン等を鵜呑みにし賛同の意見ばかりで、自分で調べてプランニングして対抗するような姿勢がない。そういった体制になればもちろん報酬も上げなければならない。国会議員は偉そうにしているがもっと仕事をしている。町会議員もバッジ付けてもっと偉そうにすれば良いのにどうもイエスマンが多すぎる。機械的に定時に議会に行って終わったら帰るという風にしか見えない。もっと意欲的にしてほしい。

(意見 8)

意欲的に出ても、民主主義のため多数決で負けてしまう。いくら良い意見を言ってもそうになってしまう。

(意見 9)

政務活動費を出せば、議員ももっと調査勉強し、おもしろくなると思うが。

(意見 10)

市はほとんどの市で政務活動費があるが町はある所が少ない。

(意見 11)

それでも辞めない議員はいる。215,000 円でも生活の糧になり、このあたりの小さな民間企業より上だと思う。

(意見 12)

やはり議員の評価をきっちりして、制裁をしなければ横並びのままではダメだ。その制裁が選挙であり、現在その選挙が機能してないということは定員が多いということ。議員定数を減らせば良い。

(意見 13)

定数に関しては、議会が決めることなので、この場での審議事項ではない。

(意見 14)

委員を減らしても各常任委員会構成は大丈夫なのか。

(意見 15)

総務まちづくり常任委員会と文教ふくし常任委員会の 2 員会があり、7 人と 6 人の構成。

県内に議員 10 人の町議会があるが、やはりこの人数では各常任委員会に分かれると協議が難しくなるため一つで行っている。

(意見 16)

議員の中には足を使って住民の意見を吸い上げて、発言されている議員もいるが、自分独自の理論のみを発言される議員が多い。議員の姿勢を住民が既に見透かしている感じがする。もう少し住民の意見を聞きとって、それを色々な場所で発表していただきたい。選挙で選ばれた人だから、自分の意見を堂々と主張されたら良いと思うが、あまりにもかけ離れた意見を主張される。それを聞くと、住民は、議員はこんなことしか考えていないのだなと感じてしまう。住民の意見をいかに吸い上げるかが議員の能力であり、それにマッチした自分の意見を伝えることが必要。自分の持論だけで質問されている方が多く、議会に魅力を感じない。議員はもっと立ち位置を考え、泥田の中に足を踏み込んでいただければ嬉しい。

(意見 17)

私もそれに賛同するところがある。だからこそ選挙に多くの人が出てくれなければ困る。この人に託したいという人を選びたい。最近地方議会の担い手不足が話題になっている。この問題は他所事ではなく、多可町においても大きな問題である。やはり議員報酬を上げなければ解決しないと考えている。

(意見 18)

選挙では大きな集落が有利な気がする。人ではなく集落を選んでいる気がする。小さな集落では有能な人であっても埋もれてしまう。議員数を減らして、多可町全体を考えられる人が立候補するシステムを作って欲しい。今の 14 人ではどうしても大きな集落が有利になるのではないか。

(意見 19)

今は昔に比べてマシだと思う。昔はそれこそ村がかりの選挙だった。中村町、安坂、鍛冶屋など旧中町は大きな集落から一人も議員が出ていない。

選挙で数人は落選するという状況にならないといけない。この民主主義で、議員を査定できるのは選挙だけである。

(意見 20)

選挙の告示日に、選挙になるか、ならないかを睨んで、無投票なら立候補するようなこの現状はどうしようもないと思う。

(意見 21)

公務員が住民からとって一番目立つ。報酬を上げるにしても下げるにしてもしっかりとした説明が必要。町長で年収 1,000 万、議員で 300 万。多可町の平均所得 2,778,000 円よりはるかに多い。そのため住民からは「なぜ上げるのか。」と聞かれることもある。一方で他市町と比較すると上げるべきかと考える。

(意見 22)

常勤の町長、副町長、教育長は町の先頭に立つべき人であり、給料を上げるべきであると思う。議員の方はもっと望ましい人が出てこれる環境が整備されるまでは報酬を上げる必要はない。

(意見 23)

今の議員の状況では報酬を上げることは住民の理解を得るのは難しいのでは。

(意見 24)

常勤は、ここが職場であり毎日頑張ってもらわなければならない。議会の承認についても、悪いところは修正して、それを承認させることが常勤の仕事であり、常勤は給料を上げて問題はない。議員の中にも立派な方はおられるかもしれない。ただそうでない方もおられる。そういう方をどのようにして排除できるのかを考えていかなければならない。

(意見 25)

常勤の方は土日もない。市町は大きさに関係なく行事は同じである。大きな

ところはある程度分散できるが、小さな市町は全てに関わらなければならない。足を運ぶ回数は小さい市町の方が圧倒的に多いと考えている。

私は役場に行く機会も多いが、先程の議員とは違い、常勤の特別職は、常に泥田に足を入れ、頑張っている姿を見ている。

(意見 26)

確かにそうである。民間でも、金がある会社ほど社長は楽。小さい会社の社長ほど何でもしなければならぬ。

(意見 27)

皆さんの意見は、議員報酬は上げない方向に進んでいるが、私は上げるべきだと考える。定員はもう少し減らした方が良いとは思いますが、定員を条件にするわけではなく、現行の 215,000 円があまりにも安すぎる。言い方は悪いが、何か正業を持っている人がついでにというレベルの賃金水準。かといって大幅に上げることも出来ない。それでももう少し待遇改善をした方が良く思う。

(意見 28)

その通りかと思う。議員が真剣に活動してくれるなら政務活動費とか支給すれば良いと思う。

(意見 29)

ちょっとでも選挙に出てみようと思う人を増やしていかないといけない。いい人を選ぶという選挙の法則からしてもその方が個人的には良いと考えている。

(意見 30)

少子高齢化が進んでいる。できれば定数を減らし、その分報酬を上げることでバランスがとれたら良いのではないかと思います。

(2) その他

本審議会の委員報酬は、皆さん既に役場に口座、マイナンバー提出済みの方ばかりですので、審議終了後、登録口座に振り込みます。

8 閉 会

藤本課長